

### 第 3 事業の目的及び内容

#### 4 事業の目標（達成すべき成果）、波及効果

##### ■目標設定

食育に関する意識調査報告書（内閣府食育推進室 平成 28 年 2 月）等により現状値を把握し、それぞれに対し目標値を設定する。

#### (2)課題解決に向けたシンポジウム等の開催

##### ○ア 食文化の継承度

(ア) 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法などを継承し、伝えている者

郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を「受け継いでいる」60%（食育に関する意識調査報告書: H28.3 内閣府食育推進室）⇒目標 64.2%(H30 年度)

(イ) 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法などを継承している若い世代（20～30 歳代）

郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を「受け継いでいる」（20～39 歳）49.3%（食育に関する意識調査報告書: H28.3 内閣府食育推進室）⇒目標 57.9%(H30 年度)

##### ○食品を購入する際に「国産や地域の食品を選ぶ」とする者の割合の増加

県内産食材を購入した理由が地元産である割合

60%（H28 年度県民アンケート）⇒ 64%(H30 年度)

#### (4)食文化の保護・継承のための取組支援

##### ○ア 食文化の継承度

(ア) 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法などを継承し、伝えている者

郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を「受け継いでいる」60%（食育に関する意識調査報告書: H28.3 内閣府食育推進室）⇒目標 64.2%(H30 年度)

(イ) 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法などを継承している若い世代（20～30 歳代）

郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を「受け継いでいる」（20～39 歳）49.3%（食育に関する意識調査報告書: H28.3 内閣府食育推進室）⇒目標 57.9%(H30 年度)

##### ○イ 栄養バランスに配慮した食生活の実践度

(ア) 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を 1 日 2 回以上ほぼ毎日食べている者

の割合 57.7% ⇒ 67.5%(H30 年度)

(イ) 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代(20~30歳代) 43.2% ⇒ 52.6%(H30 年度)

○食品を購入する際に「国産や地域の食品を選ぶ」とする者の割合の増加  
県内産食材を購入した理由が地元産である割合  
60%(H28 年度県民アンケートより)⇒ 64%(H30 年度)

#### (5) 農林漁業体験の機会の提供

○平成30年度における農業体験予定者数(延べ人数): 60名(3回×20名)

○食品を購入する際に「国産や地域の食品を選ぶ」とする者の割合の増加  
県内産食材を購入した理由が地元産である割合  
60%(H28 年度県民アンケートより)⇒ 64%(H30 年度)

#### ■波及効果について

各種取組については、当該地域の広報誌に掲載し、かつ、事業実施主体のホームページでも広く周知する。また、関係団体に広報協力を要請し、波及効果を狙う。

#### 5 事業成果・効果の検証方法

各事業において、4で設定した項目についてアンケート調査を行い、事業成果・効果を検証する。

#### 6 その他事業の推進に必要な事項